

あゆみ年表～令和6年～

R6.4.27 稚内灯台一般公開

今年も稚内灯台の一般公開を行い、440名が訪れました。訪れた方々は、1階で展示している灯台の機器や全国の灯台50選の写真を見学した後、北海道で一番(全国で1二番目)高い灯台の最上部を目指し、153段の階段を登りました。登る人の中には、一気に登りきる方、休みながら登る方など様々でしたが、最上部に登りきると灯室からの景色を楽しんでいました。地上では、「うみまる」も登場し、子供たちに取り囲まれるなど、盛況な一般公開になりました。



R6.7.6 利尻島沼浦展望台沖漁船4隻転覆事故

午前6時45分頃、利尻島沼浦展望台から約20メートル沖合で漁船4隻(いずれも1人乗り)がウニ漁をしていたところ、磯波により相次いで転覆しました。船長1名除く3名は利尻島国保中央病院へ搬送され、1名が午前8時32分に死亡が確認されました。残りの2名は命に別条はないとのことです。

R6.8.25 巡視船りしり体験航海

6年ぶりとなる市民(招待客、友の会、職員家族含む)を対象とした巡視船りしり体験航海を実施しました。千歳航空基地MA機による飛行展示や、巡視艇きたかぜによる高速航行、放水展示を実施し、船内では「うみまる」との記念撮影、子供を対象とした当部オリジナルキャラクター「美波稚海」や巡視船りしり、うみまるをデザインしたキーホルダーをガチャガチャに入れ、子供たちに楽しんでもらいました。



R6. 12. 22 巡視船もとうら解役

巡視船「もとうら」は、昭和61年11月就役、平成24年1月に稚内海上保安部に配属され、39年の永きに渡り現場第一線で活躍してきましたが、老朽化が激しく、解役を迎えることとなりました。

解役に伴い、12月16日に同船は、当部職員や第一管区海上保安本部の吉本直哉次長(当時)、工藤広稚内市長及び海上保安友の会など関係者に見送られ、函館向け最後の航海に出ました。



R6. 12. 26 巡視船さろべつ就役

もとうらの任務を引き継ぐ巡視船「さろべつ」は、平成24年3月に高知海上保安部所属の巡視船「さんれい」として就役、令和6年12月26日、稚内海上保安部所属の巡視船「さろべつ」として配属替となりました。

巡視船「さろべつ」は、ウォータージェット推進による高速性能、操縦性能の向上、停船命令等表示装置による情報伝達能力の向上、遠隔放水銃による消火能力、放水規制能力の向上等海上保安業務全般にわたり対応能力の充実強化が図られており、北海道北部海域の警備救難業務等海上保安業務に従事します。

